

科目名		建築史				
担当教員		熊谷貴子		実務授業の有無		
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		西洋建築の様式変遷とその特徴・代表的な建築物・建築家を学ぶ ・教科書の用語チェック ・まとめ板書 ・評価テスト ・映像資料+感想レポート				
学習目標 (到達目標)		2級建築士試験の学科に対応できる知識を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		○図説 建築の歴史(学芸出版社) ○補足資料 ○映像資料 各自で準備 ●教科書をチェックする色ペン ●板書を記入するノート				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	「建築史」を学ぶということ・にいがたのケンチク オリエントの建築			建築の歴史を学ぶ意義、新潟の著名建築とその建築家を学ぶ 古代オリエントの代表的建築物を学ぶ		
2	ギリシア建築 ローマ建築			ギリシア建築の特徴と代表的建築物を学ぶ ローマ建築の特徴と代表的建築物を学ぶ		
3	初期キリスト教建築・ビザンツ建築 ロマネスク建築			キリスト教建築のはじまりと 東ローマの代表的建築を学ぶ ロマネスク建築の特徴と代表的建築物を学ぶ		
4	ゴシック建築 ルネサンス建築			ゴシック建築の特徴と代表的な建築物を学ぶ ルネサンス建築の特徴と代表的な建築物を学ぶ		
5	バロック建築・ロココ 新古典主義建築・歴史主義建築			バロック建築とロココの特徴と代表的な建築物を学ぶ 新古典主義・歴史主義の特徴と代表的な建築物を学ぶ		
6	評価テスト①			学習範囲の知識確認		
7	産業革命と建築 近代造形運動			産業革命による技術革新とアーツ・アンド・クラフツ運動を学ぶ アールヌーボーと各地の近代造形運動を学ぶ		
8	モダニズム建築			近代建築三大巨匠のフランク・ロイド・ライト ミス・ファン・デル・ロエール・コルビュジエ を学ぶ		
9	評価テスト②			学習範囲の知識確認		
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
評価テスト①～②	評価テスト③ (映像レポート)	取組姿勢		世界の建築様式と建築物・建築家を学び、これからの新しい建築空間創造の基礎知識としましょう		
40 %	40 %	20 %	%			
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴						